

豊浦町の魅力が詰まった
体験でおもてなし

豊浦型

DMOの設立



■一般社団法人 噴火湾とようら観光協会とは？

町の自然や景色、産業と食などの観光資源を活かし、観光客の誘致をするため、2年前から豊浦型DMOの組織化に向けて取り組んできました。

7月1日に『一般社団法人 噴火湾とようら観光協会』を発足し、今年度中に国への「観光地域づくり推進法人(DMO)」を申請。事務所は、JR豊浦駅舎の2階にあります。

協会の取り組みは、情報発信・宣伝事業などの「公的事業」、体験プログラムなどの「自主事業」、豊

浦海浜公園やキャンプ場の管理をする「受託事業」の3つの事業を柱として事業を実施していきます。

また、観光客のニーズを知るため各種調査や分析を行い、誘致活動につなげていくこととしています。

体験プログラムはすでに実施しておりますので、町内でツアーを見かけた場合は、ぜひお声がけいただければ、皆さんとのふれあいができ、参加者も喜ぶますので、よろしくお願ひします。

●コンセプト

「小さな町の新たな挑戦」 ～噴火湾の豊かな暮らしを満喫～

町の自然や文化、歴史、産業、そして人…この地でホタテ貝養殖やいちご栽培など幾多の苦難にも負けずに挑んできた先人の思いを受け継ぎ、これからも誇りを持って笑顔で暮らす。

●体験プログラム (一部)

- ・漁港散策&ランチツアー
- ・チカ釣り体験
- ・笹だんご作り体験
- ・小幌トレッキング体験
- ・サイクリングツアー
- ・スノーシュー体験
- ・豊浦食材で作るホットサンド体験

●一般社団法人

噴火湾とようら観光協会役職員 《敬称略》

- 理事長 金丸 孝
副理事長 館崎 雄二 (伊達信用金庫)
専務理事 徳田 照男
財務担当理事
片桐 嵩意 (伊達信用金庫)
理事
小川 晃司 (商工会)
鈴木 宏一郎 (北海道宝島旅行社)
杉谷 佳昭 (役場)
監事
藤村 建一 (いぶり噴火湾漁協)
山田 栄司 (とうや湖農協)
事務局長 岡本 貴光 (役場)

～ NEW 事業～

豊浦町が駅の管理業務を行い「日本一の秘境駅」として知られる小幌駅を訪れた方の旅の思い出として、また、小幌を訪れた方に町内を来訪してもらうため、「秘境到達証明書」を発行する事業を8月4日(土)から始めています。

- ・小幌駅の駅名看板を背景にして、スマホカメラ等で本人が証明できるよう撮影する。
- ・「道の駅とようら」または、「天然豊浦温泉おおい」にて、撮影した画像を提示する。
- ・到達日の証明スタンプを押印して証明書を発行します。(無料)

また、昨年に引き続き、秘境小幌フォトコンテストを開催していますので、ぜひ応募をお待ちしています。(10月19日まで。詳細は、町ホームページに掲載。)